

ポスタータイトル：福島 PDX® (F-PDX®) の入手から使用まで

発表者氏名 土橋 悠

発表者所属 福島県立医科大学医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター

共著者氏名 片平 清昭、高木 基樹、渡辺 慎哉

共著者所属 福島県立医科大学医療・産業トランスレーショナルリサーチセンター

【要旨】

今回は「福島医薬品関連産業支援拠点化事業」の成果物である福島 PDX® (F-PDX®) の入手から使用までを紹介する。

F-PDX®を調べる： 下記の内容は当センターのホームページからカタログ閲覧登録すると調べることができる。① F-PDX®の特徴、② 元の腫瘍細胞・組織の臨床情報、③ 病理組織像、④ 表面抗原解析（造血器腫瘍のみ）、⑤ 移植後推移、⑥ 網羅的遺伝子発現解析（クラスタ分析）による評価、⑦ がん関連遺伝子の発現プロファイル。

F-PDX®を選ぶ： F-PDX®は 164 系統（造血器腫瘍系 34 系統、固形腫瘍系 130 系統）から選択できる。

F-PDX®を入手する： アカデミアは富士フィルム和光純薬（株）から、企業は日本チャールス・リバー（株）から入手できる。

F-PDX®を使う： 多発性骨髄腫移植マウスによる画像解析と薬効評価試験を紹介する。F-PDX®は、様々ながん研究に活用できる。